

先輩から学べ

4年生の就職活動が終盤を迎え、3年生もそろそろ活動を開始するこの季節。各キャンパスで活発にセミナーが開催され、就職情報誌やWebサイトなどにも、たくさんの情報が提供されています。広報課では、就職活動を経験した153名の4年生に、就職活動の失敗談や経験から学んだアドバイスをもらいました。3年生はもとより、1・2年生も参考にしてみてください。

1 就職活動活動中、思った以上に必要だと思ったものは？



2 就職活動におけるあなたの「失敗談」は？



「失敗」のトップは寝坊と遅刻と迷子

面接に行く時間が通勤時間と重なり、満員電車で身動きがとれず乗換えができずに遅刻。
目的には着いていたのに、大きなビルに会社が入っている見つけるのに時間がかった。
面接地がわからず遅刻しきりになったこと数回。
寝坊してしまい電話で遅れる旨を伝えたが、ゆとりをなくしてワータウン。もちろん面接は失敗でした。
最終面接の日に遅刻。面接時間が少なく質問もほとんど無かった。遅刻が原因だと思います。
道に迷って遅刻した上に、財布を忘れて駅員さんに助けってもらった。

事前の情報収集が力加

SPEIを軽みすぎて勉強しなかったら、SPEIで落とされて面接までいけなかった。何度も。
企業のホームページをきちんと見てから行った方がいい。パラエチの番組の制作会社だと思ったら、A.V番組だったことがある。その会社の下調べをせずに面接を受け、仕事内容が答えられなかった。
行き方を調べずに行ったら道が分からず、説明会場に行き着けなかった。

欲張りすぎは禁物

あまりにもエントリーしすぎて、どこがどの会社なのか分からなくなると。
面接が同じ日に重なってしまふ(3社も)。ある会社に時間を要してもらえないかと頼んだところ「ウチを変えろ」といふことは、志望度が低いと言っていることと受け取られ、時間は変えてもらったが落ちました。
エントリーシートがたまらなくなってしまふ提出しきれなかった。
説明会の予定を入れておいて、あまりにもスケジュールに追われ逆になる気がした。

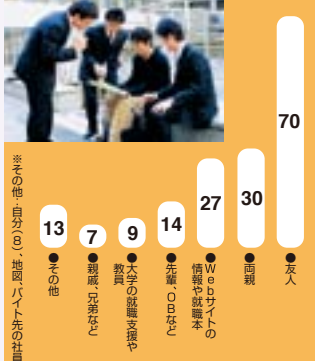
面接で赤面・・・

事業内容と違うことを志望動機で言ったこと。
社名を間違えた。
自分のことを、俺と言ってしまった。
正直に言うべきところを、会社は第何志望くらいか、と聞かれ、「第2志望くらいです」と答えてしまった。
社長面接の最中にトイレが我慢できず、社長を待たせた。
緊張しすぎて頭が真っ白になり、何も答えられなかった。

他にもー

「私服可のセミナー」にフアリの付いた服で行ったら、毛が抜けまくって帰ってしまい集中できなかった。
唐揚げの日の目間違え、なんでもな日に行ってしまった。
説明会の目を間違えた。
最終面接の日間違えた。
説明会で寝た。
靴を一足しか持っていないかたの「ポロシャツ」。
履歴書を忘れた。

3 就職活動を通じて最も頼りになったのは？



頼もしい助っ人は身近なところ！

情報源として、相談役として、最も頼りになったのは「友人」でした。ときにはライブ、ときには目標を持つ仲間として何でも相談しあえる友人は就職活動に欠かせない存在のようです。第2位は「両親」。

4 失敗から学んだことや後輩へのアドバイス。

「何がしたのか」をはじめから振り返らずにさまざまな業種を見てください。「自分に合うのはこの業種」と思っても、「やりたは仕事」と「できる仕事」に差があるのです。「英語コミュニケーション」男) 就活は、早い時期から情報を集め、少しでも行動してみるように思います。情報を集めるにしてもネットだけではダメです。いい面だけ



(自由回答)

インターンシップを経験して

文京区役所 企画政策部広報課



(マーケティング学科3年)

今年6月、就職活動を何から始めればいかわからなかった時、区役所のインターンシップ募集の掲示を見つけたのがきっかけです。何事も経験してみなければ、わからないことがたくさんあると思い応募しました。

8月23日から9月3日までという短い期間でしたが、公務員にも様々な仕事があるのだと認識を改めました。公務員という、事務的な仕事のイメージを持つ人が多いと思いますが、私が配属された広報課では、文京区民チャンネルの番組を作ったり、区報づくりのため小学生の理科実験取材するなど、実際に社会に出てみたいとわからない仕事がたくさんあるのだと知りました。また、区民の方々からの相談や苦情が来た時の対応の仕方などを間近で見ることができ、区民の方へのサービスの重要性を教えてくださいました。

インターンシップを通じ、組織に属したことは貴重な経験になったと思います。頭で想像しているよりも、実際に目で見て確かめてみる事が大切なのではないでしょうか。